

# 社会環境等の分析 および区民参画結果



## 区を取り巻く社会環境等の分析

- ✓ 国・東京都の社会動向・政策動向について分析
- ✓ 荒川区と隣接区との人口、土地利用、産業等に係る数値比較分析
- ✓ 財政分析
- ✓ 2040年の将来人口推計

## 区民等からの意見募集

- ✓ 各種アンケート
- ✓ ワークショップ
- ✓ 関係団体へのヒアリング 等

# 社会環境等の分析

## 社会経済動向の分析 社会経済動向の分析報告書をご確認ください。

- 国・都の現状や政策動向等を整理し、特別区への影響を分析
- 「子育て」「健康」「福祉」「教育」「防災・防犯」「共生」「環境」「産業」「文化・芸術」「まちづくり」「区政運営」の11分野をテーマとし分析を実施

## 区の現状調査 区の現状調査報告書をご確認ください。

- 人口、土地利用、産業等の視点から、他区との比較を通じて区の現状と立ち位置を把握
- 「人口動向」「子育て」「健康」「福祉」「教育」「防犯・防犯」「共生」「環境」「産業」「文化・芸術」「まちづくり」「区政運営」の12分野をテーマとし、分析を実施

## 財政分析 財政分析報告書をご確認ください。

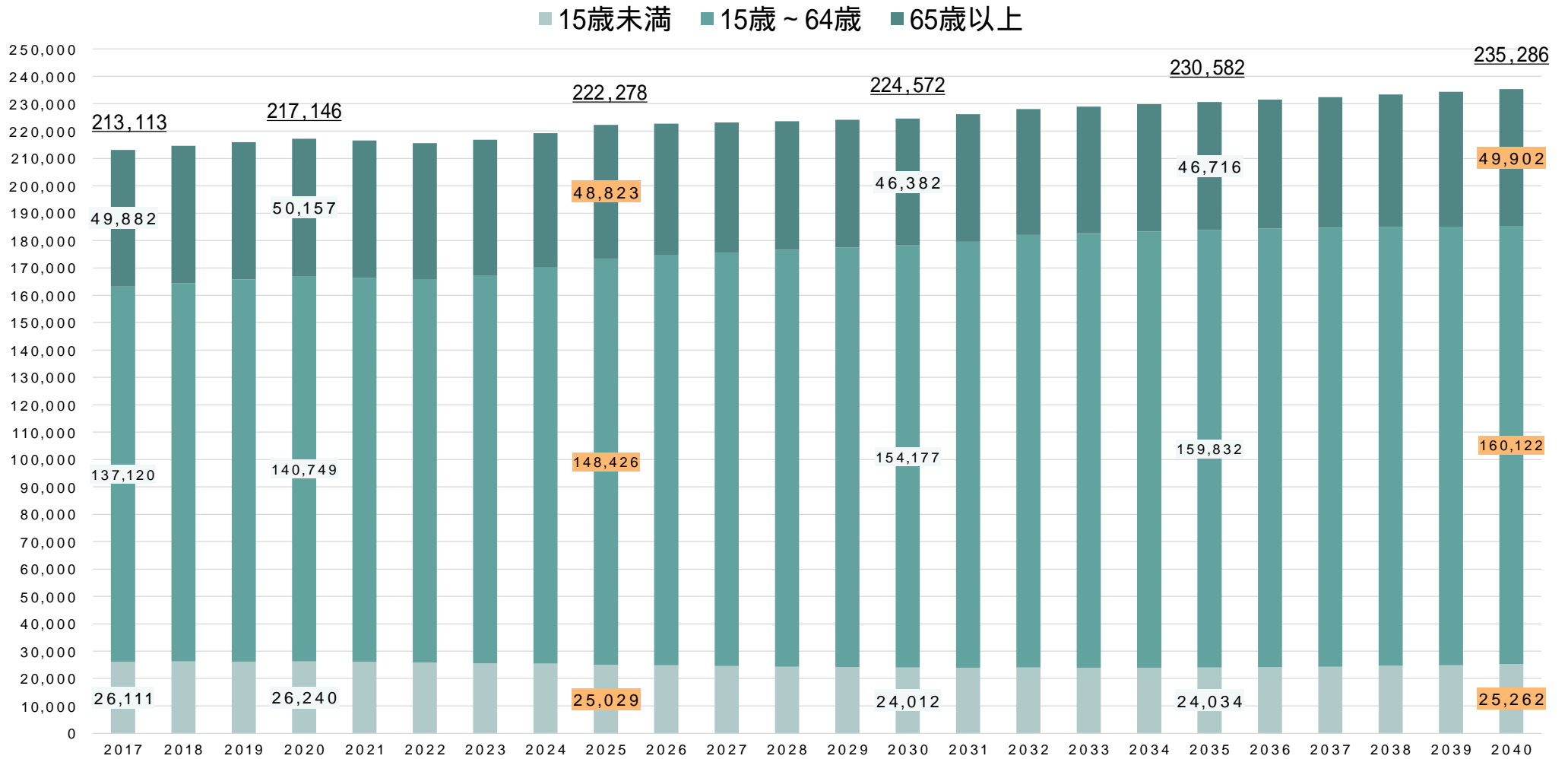
- 荒川区の財政状況に関する分析を実施
- 荒川区の財政面の特徴と動向、動向を踏まえた今後の課題を整理

## 将来人口推計

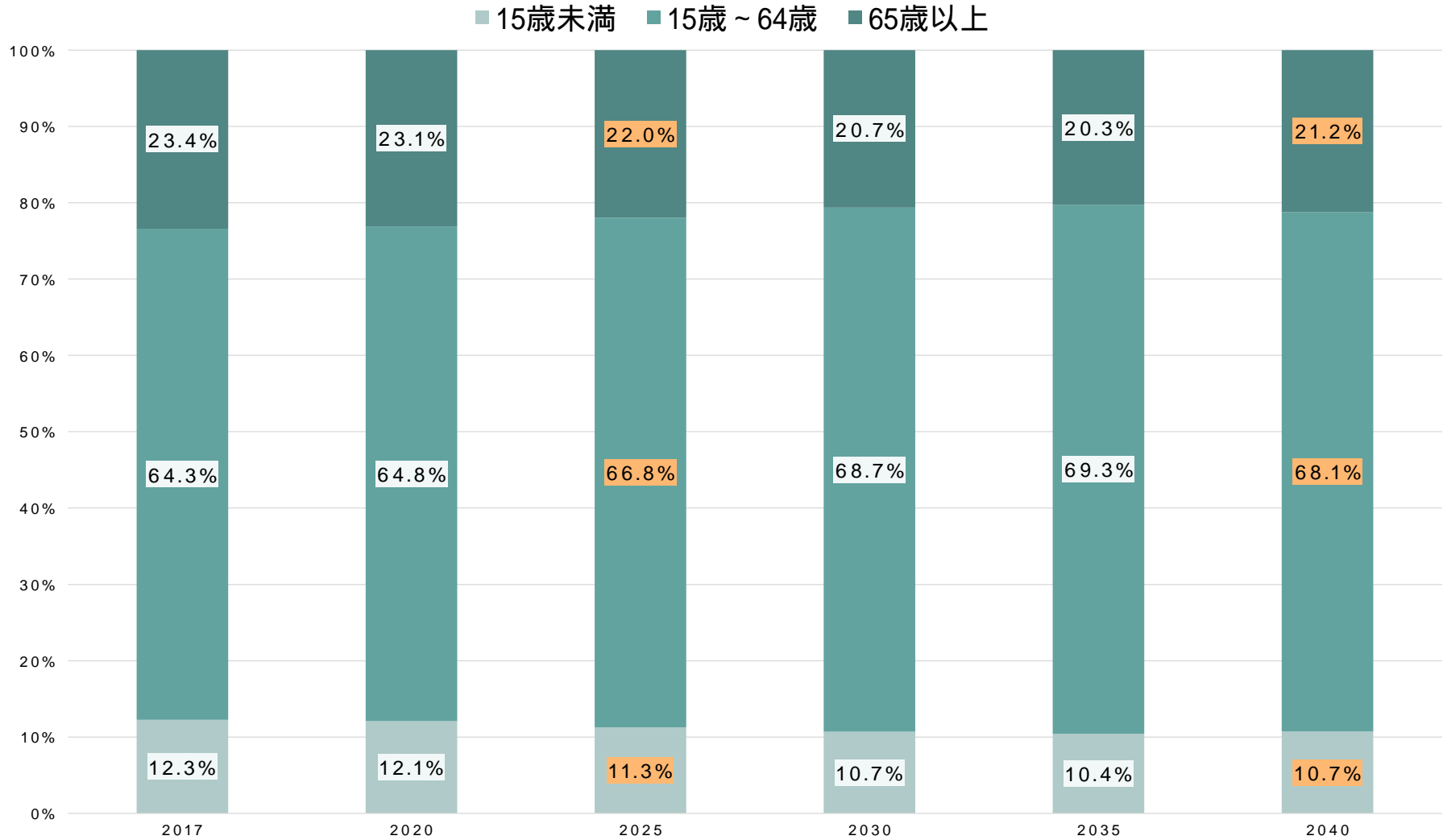
- 2040年までの荒川区の将来人口を推計
- 出生・死亡・転入・転出等の人口動態を踏まえ、将来の人口規模や年齢3区分別の人口・構成比の見通しを分析

区を取り巻く環境  
区の強み・弱み を把握

# 将来人口推計 (年齢3区分別人口の推移)



# 将来人口推計 (年齢3区分別人口構成比の推移)



# 区民等からの意見募集



アンケート	オープンハウス型	実施日 : 令和7年4月29日(火・祝) 対象者 : 川の手荒川まつり参加者 内容 : 「子育て」「福祉」「健康」「教育」「防災・防犯」「共生」「環境」「文化・芸術・産業」「まちづくり」の9つの政策分野について、どの分野が最も大切かについてシールを貼付 回答数 : <b>1,316票</b> (内訳 大人...755票、子ども...561票)
	区民アンケート	実施期間 : 令和7年7月1日(火)~7月31日(木) 対象者 : 満18歳以上の区民 3,000名(荒川区の人口構成比で抽出) 内容 : 区が実施する政策・施策の重要度、満足度や区の将来像について等(40問) 回答数 : <b>804票</b>
	子どもアンケート	実施期間 : 令和7年7月11日(金)~9月30日(火) 対象者 : 区内の小学校5年生、6年生、中学2年生 内容 : 荒川区の好きなところ・自慢したいところ、改善した方がよいところ、区長になったらやりたいこと(自由記述) 回答数 : <b>448票</b> (内訳 小学5年生...198票、小学6年生...159票、中学2年生...77票、学年無回答...14票)
	関係団体ヒアリング	実施期間 : 令和7年6月13日(金)~9月26日(金) 対象 : 区内関係団体 <b>123団体</b> 内容 : 団体が直面している課題や2040年に向けて区が取り組むべき施策、区と協働で進めるべき取組についてヒアリングまたはアンケートを実施

# 区民等からの意見募集



ワークショップ	区民ワークショップ	<p>実施日 : 第1回...令和7年8月31日(日) 第2回... 10月18日(土) 第3回... 11月15日(土)</p> <p>対象者 : 18歳以上の区民</p> <p>参加人数 : 第1回...<b>30名</b> 全3回で完結するワークショップで全日同じ方が参加した 第2回...<b>27名</b> 第3回...<b>24名</b></p> <p>内容 : 第1回...荒川区の好きなところ / キャッチフレーズを考えよう 第2回...荒川区の強み・弱み・課題 / 都市像を考えよう 第3回...都市像実現のために必要な取組 / 区民がもっと関わりやすくするには</p>
	若者ワークショップ	<p>実施日 : 令和7年8月21日(木)</p> <p>対象者 : 区内在住・在勤・在学の16歳～30歳の方</p> <p>参加人数 : <b>12名</b></p> <p>内容 : 荒川区の強み・弱み・将来どんなまちになってほしいか / 若者がまちづくりに関わるには</p>
	子どもワークショップ	<p>実施日 : 令和7年8月25日(木)</p> <p>対象者 : 区内在住・在学の小学5年生、6年生、中学生</p> <p>参加人数 : <b>9名</b></p> <p>内容 : 荒川区の好きなところ・残念なところ / 将来どんなまちになってほしいか</p>

# オープンハウス型アンケート

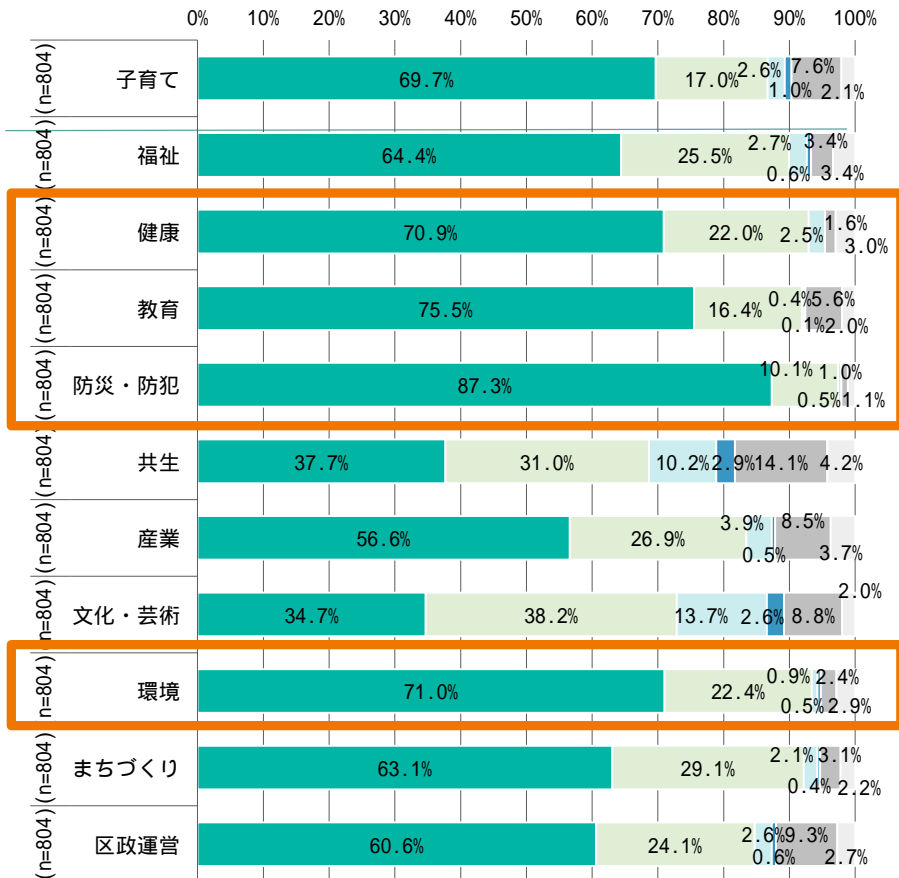
Q：最も大切だと考える政策分野は？

大項目	小項目	大人	子ども	合計
子育て	出産しやすい・子育てしやすい	141	79	220
福祉	高齢者・障がい者支援	96	37	133
健康	健康増進・健康寿命	60	51	111
教育	ICT教育・スポーツ環境	92	67	159
防災・防犯	地震・水害・詐欺対策	124	86	210
共生	パラスポーツ・多様性・外国人	28	34	62
環境	ゼロカーボン・フードロスゼロ	29	48	77
文化・芸術・産業	ものづくり・観光・創業支援	63	45	108
まちづくり	公園・交通・地域コミュニティ	122	114	236
	合計	755	561	1,316



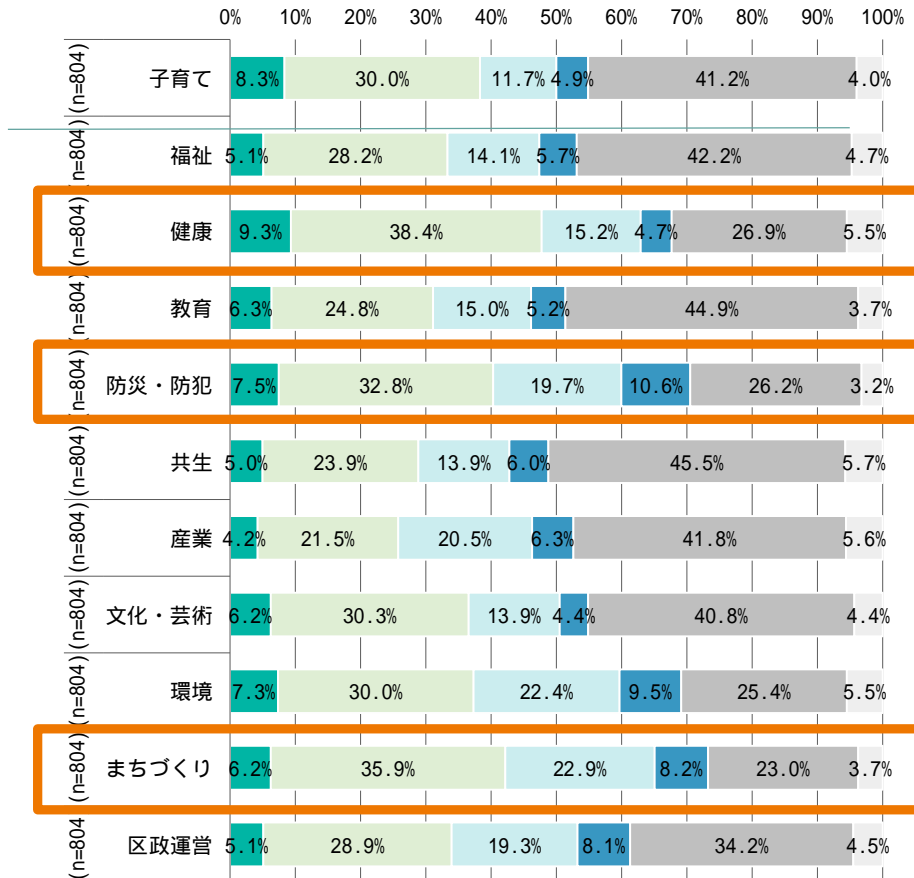
# 区民アンケート

## 荒川区が実施する政策の重要度



■重要である ■やや重要である ■あまり重要ではない  
■重要ではない ■わからない ■無回答

## 荒川区が実施する政策の満足度

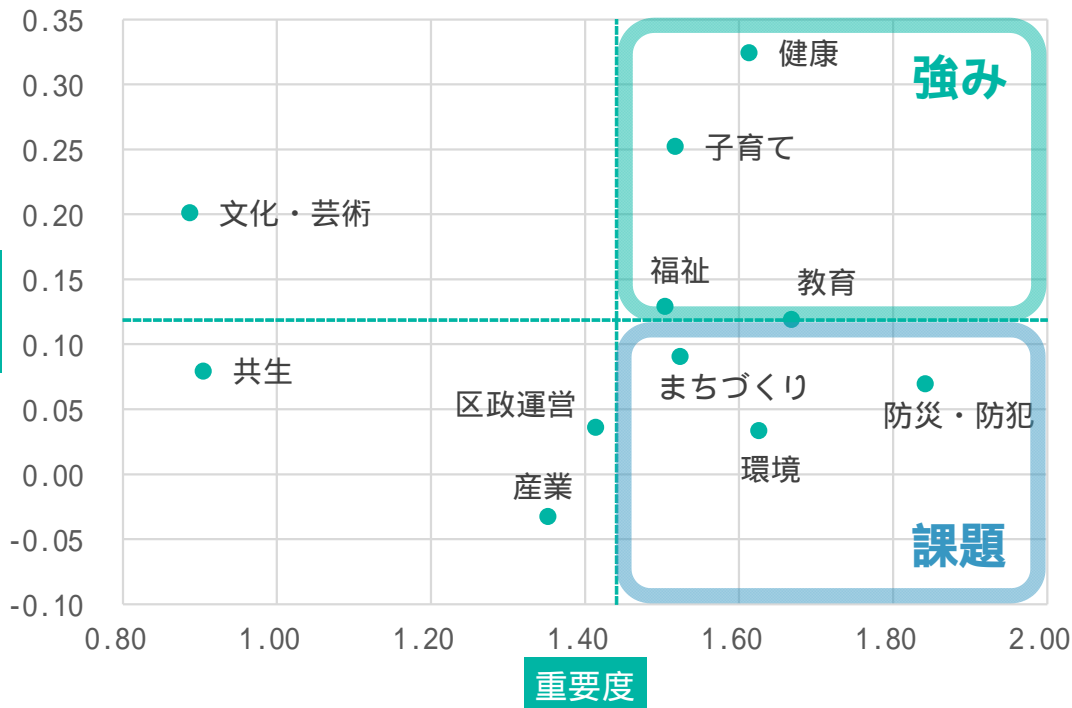


■満足である ■やや満足である ■やや不満である  
■不満である ■わからない ■無回答

# 区民アンケート

## 政策の重要度・満足度の散布図

満足度



✓ 「健康」「子育て」「福祉」「教育」は重要度と満足度がともに平均を超えている  
荒川区にとって**強み**となっている政策分野

✓ 「環境」「防災・防犯」「まちづくり」については、重要度が平均を超えているものの、満足度は平均を下回る。  
荒川区にとって**課題**となっている政策分野

政策分野	重要度	満足度
子育て	1.5174	0.2525
福祉	1.5037	0.1294
健康	1.6132	0.3246
教育	1.6679	0.1194
防災・防犯	1.8420	0.0697
共生	0.9042	0.0796
産業	1.3520	-0.0323
文化・芸術	0.8868	0.2015
環境	1.6256	0.0336
まちづくり	1.5236	0.0908
区政運営	1.4142	0.0361
平均	1.4410	0.1186

### (参考) 散布図における重要度・満足度の算出方法

重要度 = 「重要である」の割合 × 2 + 「やや重要である」の割合 × 1 - 「あまり重要ではない」の割合 × 1 - 「重要ではない」の割合 × 2

満足度 = 「満足である」の割合 × 2 + 「やや満足である」の割合 × 1 - 「やや不満である」の割合 × 1 - 「不満である」の割合 × 2

# 区民アンケート（自由記述）

設問	主な回答
<u>荒川区の良いところ、未来に残したいところ</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 商店街などユニークで人情味あふれる「<b>荒川らしさ</b>」を未来に残したい</li><li>• <b>人と人とのつながり</b>が近く、大人も子どもも気さくに声をかけてくれる雰囲気</li><li>• 下町らしい昔ながらの祭りや食などの文化や景観</li><li>• まちがきれいで治安が良いところ</li></ul>
<u>2040年頃の荒川区がどのような「まち」になっていてほしいか</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ゆいの森のような快適な公共施設を増やし、<b>住民が笑顔</b>になれるまち</li><li>• 緑が多く、子どもがのびのび遊べる場所が増えてほしい</li><li>• 子どもや若者の意見を尊重し少子高齢化に負けない、若い世代に活気があるまち</li><li>• 外国人、障がい者、高齢者などの交流の場があり、<b>地域に一体感</b>があるまち</li><li>• 防災訓練や耐震施設の整備等、災害に強いまち</li></ul>
<u>将来像を実現するために、自身や所属する団体・グループでできること</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 高齢者や障がい者、子ども同士で互いに声をかけ、日ごろから<b>ともに支えあう</b>意識をもつ</li><li>• 国籍や年代を問わず、お互いの文化・生活の尊重する</li><li>• ボランティアや文化振興など、日々多様な活動に参加をする</li><li>• 町会活動への参加等、<b>地域とのつながり</b>を大切にする取組</li></ul>

# 子どもアンケート

## 設問

## 主な回答

荒川区の好きなところ、区外の人に自慢したいところ

- **公園や緑**が多く、1つの公園が混雑していても別の公園に移動して遊べる
- **交通の便**が良く、学校や駅が近くて住みやすい
- 区民の皆さんが優しい
- 読書や俳句の活動が盛ん
- 図書館がたくさんあるところ
- お祭りが盛ん

荒川区がもっと良くなるために、改善した方が良く思うところ

- ゴミのポイ捨てを減らし、もっときれいなまちをつくるための取組を行う
- 室内の遊び場など、**遊べる場所を増やす**
- **治安の向上**
- **古い建物や空家**が多く地震の時など危険だと思う

区長になったら最もやりたいこと

- 大きくて広くて道具がたくさんある、安全な公園を作りたい
- ポイ捨てをなくし、**きれいなまち**にしたい
- 赤ちゃんからお年寄りまで**みんなが楽しめるイベントや施設**をつくる
- テーマパークやショッピングモールなど**娯楽施設**をつくりたい
- 犯罪をなくす

# 区民ワークショップ

## テーマ

第1回 荒川区の好きなところ / 荒川区のキャッチフレーズを考えよう

第2回 荒川区の強み・よいところと弱み・課題 / 荒川区の都市像を考えよう

第3回 都市像の実現のために必要な取り組み / 区民がもっと関わりやすくするには

## 当日の様子



ワークショップの議論を  
グラフィッカーがイラストで  
まとめました

# 区民ワークショップ（第1回）

テーマ	主な意見
<u>荒川区の好きなところ</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自然公園などの大きな公園やバラなど、<b>みどりが多い</b></li><li>• 銭湯や地域のお祭りが<b>コミュニティの場</b>になっている</li><li>• ゆいの森あらかわやあらかわ遊園、ふれあい館などの公共施設が充実している</li><li>• 町工場や商店街など、<b>下町ならではの景色や暮らし</b>が残っている</li><li>• 空港や都心に出やすく、交通の便が良い</li><li>• 良い意味でおせっかい</li></ul>
<u>キャッチフレーズを考えよう</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ミラクル下町あらかわ</li><li>• 繁栄し続ける魅力がある街あらかわ</li><li>• どんな人にとっても“やさしい”魅力的だと思えるまち</li><li>• 健康で元気を再現できる最強のまちあらかわ</li><li>• 皆で作る愛する下町</li><li>• みんながワクワク活躍</li><li>• Inclusive Society ARAKAWA ~みんなで生きる。~</li></ul>

# 区民ワークショップ（第2回）



## テーマ1：荒川区の強み・よいところと課題・弱み

共生・まちづくり・環境は参加者の多くが希望したため、2チームで実施した。

政策分野	強み・良いところ	弱み・課題
共生・まちづくり ・環境	<ul style="list-style-type: none"><li>バラや公園など<b>緑が多くある</b></li><li>不法投棄への対応が迅速</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><b>住環境の老朽化</b>が目立ち、公園や街並みの整備が遅れている</li><li>地域間の格差や高齢化に伴う環境への対応への不安</li></ul>
共生・まちづくり ・環境	<ul style="list-style-type: none"><li>都心への<b>アクセスが良く</b>、どこにでも行きやすい</li><li>町会活動など、多世代の<b>交流がさかん</b></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>住宅が密集し、火災等の災害が防ぎにくい</li><li>町工場など<b>下町文化が減りつつある</b></li></ul>
産業・観光・文化	<ul style="list-style-type: none"><li>伝統的な祭りや文化・イベントが多い</li><li>地域に根付いた小規模事業者による<b>地域の賑わい</b></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>資源不足や観光資源の未活用がある</li><li>観光や文化に関する情報発信や荒川区の<b>まちのブランド化を積極的に行う</b>必要がある</li></ul>
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"><li>地域の防災訓練や見守り活動が定着し、区民の<b>防災意識が高い</b></li><li>夜間パトロールが積極的に行われており、安心できる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>災害が起きた際の具体的な避難所運営や情報共有不足に不安を感じる</li><li>道が暗く狭い場所がある</li></ul>
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"><li>下町で医療連携などまとまりやすい</li><li><b>福祉施設や高齢者サービスが充実</b>している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>高齢化の進行に対して、医療や介護サービスが不足するため、<b>質の向上</b>が課題</li><li>健康増進や心身ケアの体制が若干不足している面がある</li></ul>
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"><li>保育や学校、<b>子育て支援サービスが充実</b>している</li><li>地域ぐるみの子育てや学習支援活動が根付いている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><b>子どもの遊び場が不足</b>している</li><li>待機児童や子育て環境の利便性が課題</li></ul>

# 区民ワークショップ（第2回）



## テーマ2：荒川区の都市像を考えよう

共生・まちづくり・環境は参加者の多くが希望したため、2チームで実施した。

政策分野	都市像
共生・まちづくり・環境	区民と共に生きるセーフティ都市
共生・まちづくり・環境	下町文化推進都市
産業・観光・文化	あらかわ下町文化都市
子育て・教育	子どもも親も笑顔の下町
福祉・健康	歩きたくなるまち ココロもカラダも“生涯健康”
防災・防犯	未来型のまち コンパクトセイフティシティ

# 区民ワークショップ（第3回）



## テーマ1：都市像実現のために必要な取り組み

共生・まちづくり・環境は参加者の多くが希望したため、2チームで実施した。

政策分野	都市像（第2回での検討）	まとめ
共生・まちづくり ・環境	区民と共に生きるセーフティ都市	<ul style="list-style-type: none"><li>各年齢層や外国人とのつながりをつくる、イベントの強化</li><li>行政の人員や組織の強化</li></ul>
共生・まちづくり ・環境	下町文化推進都市	<ul style="list-style-type: none"><li>中高生や若者の居場所や外国人がコミュニティをつくれる場が必要</li><li>観光資源などの区のPRを強化</li></ul>
産業・観光・文化	あらかわ下町文化都市	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタル技術を活用した情報発信</li><li>下町文化の魅力を多角的に発信し、多文化交流を推進する</li><li>空家の利活用による地域資源の活性化</li></ul>
防災・防犯	未来型のまち コンパクトセーフティシティ	<ul style="list-style-type: none"><li>物理的な安全対策とデジタル技術を活用した情報共有ツールの活用</li><li>全区民が参加しやすい防災啓発策の充実やインフラ補強</li></ul>
福祉・健康	歩きたくなるまち ココロもカラダも“生涯健康”	<ul style="list-style-type: none"><li>誰もが安全かつ快適に歩けるバリアフリー環境整備と屋内外の健康づくり</li><li>区民参加型の健康促進施策と行政と区民の連携</li></ul>
子育て・教育	子どもも親も笑顔の下町	<ul style="list-style-type: none"><li>子どもと親の負担軽減や安心感の向上を目的として施策の実施</li><li>地域と学校が連携して子どもと大人が交流できる場や学習支援体制の整備</li></ul>

# 区民ワークショップ（第3回）

## テーマ2：区民がもっと関わりやすくするには

共生・まちづくり・環境は参加者の多くが希望したため、2チームで実施した。

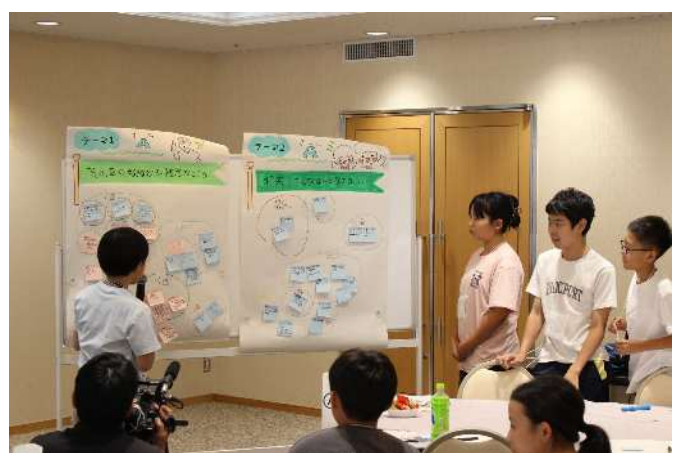
政策分野	まとめ
共生・まちづくり ・環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 独身世帯や集合住宅に住む方なども <b>地域に馴染めるイベント</b>等の実施</li><li>・ 町会の強化（活動しやすい時間の分析や目的の明確化）</li></ul>
共生・まちづくり ・環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「<b>荒川区ファン</b>」のための広報や外国人のための情報発信</li><li>・ 区政に参加できるワークショップの実施・充実</li></ul>
産業・観光・文化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 常にネット等を活用して意見を募集し公開する</li><li>・ <b>足を運びやすい</b>イベントの実施</li><li>・ <b>SNS</b>の発信の強化や区内の<b>インフルエンサー</b>の活用</li></ul>
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 定期的なワークショップや勉強会の実施</li><li>・ 子どもと親と一緒に遊べる（学べる）アプリの開発</li><li>・ まちづくりに関する<b>小中学生向けの出前授業</b></li></ul>
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 歩きたくなるような道路の整備（ネーミング）</li><li>・ 区民の<b>声を取り入れる仕組み</b>の構築（区民＋団体）</li></ul>
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>意見の反映の見える化</b></li><li>・ 街中で目に入る情報発信</li><li>・ SNSを活用してきっかけづくりを行う</li></ul>

# 子どもワークショップ

## テーマ

- 1) 荒川区の好きなところ・残念なところ
- 2) 将来、こんなまちになってほしい

## 当日の様子



# 子どもワークショップ

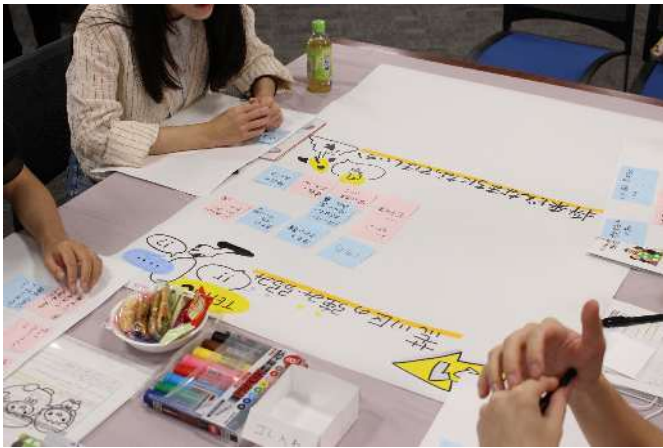
テーマ	主な意見
<u>荒川区の好きなところ</u> <u>残念なところ</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 川や公園など<b>自然環境が豊か</b>で景観が良い。</li><li>• 交通の便が良い。</li><li>• 学校や図書館、ふれあい館などの施設がきれいで充実している。</li><li>• <b>地域の人たちが親しみやすく</b>、困ったら助けてくれるなど、あたたかい雰囲気。</li><li>• お祭りなどのイベントが多く楽しい。</li><li>• ゴミをポイ捨てする人がいる。</li><li>• 公園の<b>遊具が老朽化</b>しているところがある。</li><li>• 大きなショッピングモールがないため、遊び場や買い物が不便。</li><li>• <b>道が狭く</b>自転車で通りにくいところがある。</li></ul>
<u>将来、こんなまちになってほしい</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自然豊かで安全なまち</li><li>• 遊び場や施設の充実</li><li>• 地域の交流やイベントの増加</li><li>• 災害に強いまち</li><li>• お祭りなどにぎやかで楽しいまち</li><li>• 住んで良かったと思えるまち</li></ul>

# 若者ワークショップ

## テーマ

- 1) 荒川区の強み・弱み / 将来どんなまちになってほしいか
- 2) 若者がもっとまちづくりに関わるには

## 当日の様子



# 若者ワークショップ

## テーマ1：荒川区の強み・弱み、将来どんなまちになってほしいか

テーマ	主な意見
<u>荒川区の強み・弱み</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 地域の住民があたたかく、<b>人情味</b>が溢れている。</li><li>• 地域コミュニティが豊か。</li><li>• 都心に近くアクセスが良く、<b>生活の利便性</b>が高い。</li><li>• 自然環境が豊かであることや文化・伝統などが、地域の魅力を高めている。</li><li>• <b>子育て支援が充実</b>している。</li><li>• 夜暗い道がある。</li><li>• <b>老朽化している建物</b>があり、災害時にリスクとなる可能性がある。</li><li>• 若者や幅広い世代が集う商業施設・文化施設が不足しており、<b>世代間の交流が少ない</b>。</li><li>• 区の魅力や存在感が外部に伝わりにくいため、情報発信に力を入れていくべき。</li></ul>
<u>将来どんなまちになってほしいか</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>• みんなが知っている都会のオアシス下町荒川</li><li>• 荒川区のことを他の地域に「本気で！」自慢できるまち</li><li>• 誰もが帰ってきたくなる「故郷（まち）」</li></ul>

# 若者ワークショップ

テーマ2：若者がもっとまちづくりに関わるには

## 主な意見

- 若者が**参加しやすい**交流の場づくりや地域への関わり方等の情報発信が不可欠
- SNS等を活用し、**プッシュ型で情報発信**を積極的に行う
- 有名人などを用いたプロモーション
- 小中学校で行政の取組に関する出前授業や若者会議の実施
- ワークショップのような**意見交換や交流のできる**イベントを増やす
- 意識が高くないでも参加できるようなイベントや場所づくり
- 他の区がやらないような取組を行う
- **行政・学校・企業が連携**した取組の実施
- 地域の祭りなど、**荒川区ならではの体験**ができる機会の創出

# 関係団体へのヒアリング

設問	主な回答・まとめ
1) 団体の取組で課題となっていること	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>構成員の高齢化</b>が進み、若い会員も入会しないため、団体の存続が困難になっている</li><li>• 専門的な活動を行っている団体において、<b>専門分野の人材不足・担い手が課題</b></li></ul>
2) 団体の取組分野で、区の制度、施策、事業への評価	<ul style="list-style-type: none"><li>• 区の補助金を活動に充てており、評価できる</li><li>• <b>区との連携が不足</b>しているため、今後密に連携して取り組んでいく</li><li>• 団体間または団体と公的機関を区がつなぐ役割を果たしている</li></ul>
3) 団体の取組分野における2040年の課題や変化	<ul style="list-style-type: none"><li>• 少子高齢化が加速し、担い手不足による<b>団体の存続を懸念</b>する</li><li>• デジタル化やAIの普及等で便利になる一方、<b>区民の地域との関りの希薄化</b>を懸念する</li><li>• 専門性の向上の難航や限られた人員で多様なニーズに対応するための専門性強化</li></ul>
4) 2040年を見通したときの荒川区の望ましい姿	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>全ての世代、日本人外国人問わず「誰もが」暮らしやすいまち</b>になっていること</li><li>• <b>区民と地域の交流が盛ん</b>なまちが望ましい</li><li>• 異なる世代が相互に理解を深め合い生き生きとしたまち</li></ul>
5) 望ましい姿を達成するために、区が取り組むべき施策	<ul style="list-style-type: none"><li>• 区が積極的に施策や制度整備などの取組を行っていくべき</li><li>• 特に<b>子どもや若い世代をターゲットにした取組</b>の実施</li><li>• 区民が参加しやすい事業・イベントの開催とPRを積極的に行っていくべき</li></ul>
6) 区と協働で進める取組	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>区・団体さらに第三者が連携</b>や交流をしながら、取組を実施する</li><li>• オンライン手続きやSNSの運用における連携</li></ul>